

令和4年6月6日（月）朝礼

一羊館施設長 桑原英真

コロナが蔓延し尽した今、これからの私達の生活のあり方は？ パート4、

相変わらず新型コロナウイルス COVID-19 が収まらず、今でも小学校や保育園などが学級閉鎖等がしばしば発生しております。当館でも4月に新型コロナウイルス感染者が発生して、県からのC-MAT派遣をお願いしたりしましたが、幸い当館では2名しか発生せず、無事に収束いたしました。キズが少なく済んだのは、ひとえに、職員皆さまの迅速な対応のおかげでした。その後1か月経ちましたが、平穩に経過中です。

COVID-19の感染対策の仕方も、ポイントさえ押さえれば過度の心配は不要であることも、具体的に解ってきています。

その中心はマスク着用ですが、これからは、マスク着用による**熱中症リスク**も考慮しなければならない季節に突入していきますので、その対応策も念頭に置かなければなりません。

本日は、2週間毎の定期的感染症予防対策委員会も開かれますので、その会議の結果を受けて、当館の対応策も変わっていくと思いますので、周知についてよろしく願いいたします。

世間においては外国からの観光客もこれから急増していくと思いますが、感染予防のポイントを押さえれば、感染者と接触したとしても、施設へ持ち込む心配はそれほどしなくても良いはずですので、そのポイントは決して忘れないようにしましょう。

また、もし感染してしまったとしてもそのポイントを守っていれば施設内に持ち込んで他人に移してしまうことはないでしょう。

老健施設の特徴である**多職種協働**が前提ですが、上記のそのポイントは、いつも言うように**マスク着用・手指消毒・黙食・換気・3密回避・スタンダードプリコーション等**、です。

そのポイントを守った上で、県外へも国外へも旅行に行ってもかまいませんが、ただ、問題なのは不特定多数に接触して、自分の周りの**環境には守らない人もいるかもしれない**ことを忘れないことも忘れてはいけません。

従って、気になる点が出るたびに**ホウレンソウ（報告・連絡・相談）**は必須です。

（5日ルール／3日ルールの適用の要不要を検討するため）。

迅速な情報共有と多職種協働で、スタッフみんなで、一蓮托生のコロナ対策を乗り切りましょう。

